

<福岡県の環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」（※1）では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴きし、今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

県の環境施策のマスタープランである環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

（環境部 環境政策課）

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、すべての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは下記を御覧ください。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っています。6月が環境月間であることを知っていますか。

（N=370 選択は1つのみ）

知らない	81.6%	(302名)
知っている	18.4%	(68名)

無回答 0.0% (0名)

〈2〉 あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(N=370 複数回答可 回答件数=1,436)

身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	49.5%	(183名)
ごみが正しく管理・処理されていること	49.2%	(182名)
水が汚染されていないこと	37.3%	(138名)
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	33.5%	(124名)
住まいの周りが静穏であること	31.6%	(117名)
環境に負荷をかけず、安全・安心に、リサイクルが行われていること	24.3%	(90名)
空気や空が汚染されていないこと	24.1%	(89名)
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いが少ないこと	20.5%	(76名)
家庭や会社で、環境配慮型製品(※2)が選べること	19.5%	(72名)
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	18.6%	(69名)
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	14.9%	(55名)
環境関連の技術や産業(※3)が向上・発展していること	14.6%	(54名)
様々な産業において、環境に配慮した取組(※4)が行われていること	13.5%	(50名)
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	11.1%	(41名)
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	10.5%	(39名)
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	8.1%	(30名)
環境について満足しているところはない	6.8%	(25名)
その他	0.5%	(2名)

無回答 0.0% (0名)

※2 環境配慮型製品とは

環境負荷の低減を考慮した物品等。エコマークやグリーンマーク、再生紙使用マークのような環境ラベルが目印。

※3 環境関連産業とは

リサイクル関連産業だけではなく、太陽光発電等の自然エネルギー関連産業などの環境負荷の低減や環境保全につながる様々な産業のこと。

※4 様々な産業における環境に配慮した取組とは

様々な産業が行う事業活動の中で、環境負荷を低減するための取組。例えば、減農薬・減化学肥料栽培などの環境に配慮した農業や生態系に配慮した資源管理型漁業など。

[その他(抜粋)]

- ・ スーパーでペットボトル、空き缶を回収していること。

〈3〉 あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(N=370 複数回答可 回答件数=1,375)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	43.8%	(162名)
ごみが正しく管理・処理されていること	37.8%	(140名)
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	30.8%	(114名)
環境に負荷をかけず、安全・安心に、リサイクルが行われていること	27.3%	(101名)
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	24.6%	(91名)
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	23.0%	(85名)
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	23.0%	(85名)
水が汚染されていないこと	23.0%	(85名)
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いが少ないこと	20.8%	(77名)
空気や空が汚染されていないこと	16.8%	(62名)
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	15.7%	(58名)
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	15.7%	(58名)
10年前とは違う地域に住んでいるのでわからない	14.3%	(53名)
住まいの周りが静穏であること	13.5%	(50名)
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	12.2%	(45名)
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	11.9%	(44名)
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	8.4%	(31名)
環境について良くなったと感じるところはない	7.3%	(27名)
その他	1.9%	(7名)

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- ・ 省エネ機器や、環境エネルギーが使われることが世界の潮流であり、だんだんと当たり前になってきたことは昔と比べ良くなったと思う。
- ・ フードロス(食べ残し)は仕事柄よく目にするので気になる。
- ・ 海が綺麗になった。
- ・ 博多湾の夏季の悪臭が改善された。
- ・ 産学協同というのをよく見る。
- ・ 環境についての意識が以前よりは高まっていると感じています。

〈4〉 あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満足と感ずるのはどのようなところですか。

(N=370 選択は4つまで 回答件数=909)

空気や空が汚染されていること	36.2%	(134名)
モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	35.9%	(133名)
ごみが正しく管理・処理されていないこと	19.2%	(71名)
水が汚染されていること	15.4%	(57名)
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	15.1%	(56名)
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	15.1%	(56名)
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	14.6%	(54名)
環境に負荷をかけず、安全・安心にリサイクルが行われていないこと	12.4%	(46名)
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	11.9%	(44名)
環境について、不安や不満足と感ずるところはない	10.3%	(38名)
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	9.7%	(36名)
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	9.7%	(36名)
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	8.6%	(32名)
その他	8.6%	(32名)
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	7.8%	(29名)
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	7.0%	(26名)
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	4.6%	(17名)
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	3.2%	(12名)

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- ・ 旅行が好きで全国各地を旅しています。全国と比べると福岡(九州)は、冷房の温度が低すぎると思っています。官公庁は適切に管理してありますが、鉄道やバス、商業施設等いつも長袖が必要くらい寒いです。これも、環境に負荷をかけていると思えます。
- ・ 10数年前に太陽光発電をつけましたが、年月が経つとパワーコンディションがだめになり、それを取り換えるのに30万円以上かかった。また、買い取り価格も大幅に減り、蓄電池を投入しようとしても高額すぎて手が出せず、さらに発火の可能性があるためと業者に言われました。結局原子力発電を推進したいのかと思えます。
- ・ こまめなりサイクルを意識していても、経済の妙で、取替品よりも、新品本体の方が安値の場合も多くある。
- ・ 都会のようにごみ処理場の焼却能力を上げ、ある程度のものを一緒にたに処理できるようにしてほしい。
- ・ スーパーやコンビニなどの賞味期限切れ商品の廃棄。

- ・ 以前住んでいた千葉県野田市では月に一回自治会がペットボトル・ビン・新聞紙・缶などの分別資源回収を実施し、わずかではあったが自治会活動の助成として還付金が支給されていた。福岡でも同様の試みを実施してもよいのでは。
- ・ 海にごみを捨てる人がいる。
- ・ あいかわらずポリ袋のポイ捨てが多い。
- ・ 各家庭のごみの処理については、以前に比べ守られるようになってきていると思いますが、公共の場やイベント会場に残されたごみ、歩道の植栽や高架下のフェンス内にもたくさんごみが捨ててあるのを目にします。難しい問題ですが、皆が福岡のまちをキレイにしようと思えるような取組、個々のモラル向上が必要だと感じます。
- ・ 食品ロスが多いこと。
- ・ 環境対策と銘打ってビジネスとしている面がある。
 (例) スーパーのレジ袋は実価格より高く、利益となっている。
 行政の施策や企業努力が足りない。
 (例) 飲食品の容器など、プラスチック製品が減らない。
 不完全な分別は、手間の割に生活者の意識向上となっていない。
 (対策案) 分別作業は、事業場で専門職の手で行われるべき。
- ・ 景観が美しかったところまで何箇所もメガソーラーに変わってしまい、メガソーラーのおかげで電気代が安くなるかと思えばそうでもなく、メガソーラー事業には不信感があります。リサイクル活動にも参加していますが、持っていった先で適正に処理されているのか不安です。
- ・ 太陽光パネルが地域の自然や景色を損なうようなところや災害時の安全を考慮していないところに設置されているのを見かけます。特に山の木を切っているところ等、とても気になります。県や市町村で指導していただきたいです。
- ・ 黄砂やPM_{2.5}が気になります。福岡県の取組とは違うかもしれませんが、どうか対策ができたならなあと感じています。
- ・ 周りに田んぼが多く野焼きの時期が特に喉が痛くなるほど空気が悪い。
- ・ 博多港の近くに住んでいますが、大型クルーズ船が増え、空気が臭く、のどが痛く、窓を閉めての生活で困っています。博多港に、大気成分を観測できる機械を設置して、測定してほしいです。
- ・ 燃料電池や水素の研究拠点や企業があるにもかかわらず、将来の重要エネルギーとして投資されていないこと。県内で盛り上がっていないこと。
- ・ 様々な取組が行われているが、どれも一部や一時的なもので、コミュニティ全体では目標や意識は共有されていない気がする。
- ・ 農業の問題など、現在は自然環境豊かな環境に暮らしていますが、地域の人たちの知識不足、ごみ減量に対する意識の低さなどを感じています。
- ・ 小学生の学校教育の中で環境について意識させる取組がもっとあっていいと思う。
- ・ 外国人のごみ処理や分別方法、環境教育の知識のなさや、適当さからくる不衛生な分別、捨て方。太陽光に使われている素材の環境への悪さ。

〈5〉 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見

〈低炭素社会〉

- ・ 市営住宅の屋上に、太陽光（パネル）をのせたらどうですか。
- ・ 自動車の省エネルギー化はここ 10 年で素晴らしく発展した。ハイブリット車や電気自動車、水素自動車などがその例である。しかしながら今春に九電が太陽光発電の一部供給停止を実施したことは環境問題を利益優先としたとしか考えられない。企業努力のなさではないかと思う。
- ・ 個人家庭の太陽光買取価格が激減する中、営利目的の太陽光が増え、事業の本質に疑問があります。もう少し、家庭を大事にしてほしい。
- ・ 夜間でも煌々と電灯をつけているお店がある。また、ドアを開けっ放しで店内はエアコンを強めているお店がある。省エネするべき。
- ・ 太陽光発電の売電買い取り価格が設置 10 年後に大幅に安くなるのが不満。太陽光発電の設置依頼をする割には対応が悪いと思う。設置費の元が取れない可能性もあると思う。
- ・ 自然エネルギーを正義とみなす風潮があるが、自然災害の多い福岡県での太陽光パネルの取扱いを慎重に考えるべきだと思う。やりっぱなしの事業者や、周囲の安全に配慮していない個人ユーザーなど、エネルギー以上に直接危険が人々に及んでいると思う。
- ・ 福岡県で・・・という問題ではありませんが、身の回りの電化製品に、手動でできるのに電気が使われているのものが多くなったような気がします。
- ・ 未だ、国道など主要幹線で朝夕車の渋滞があります。特に空港周辺。海岸線に方向別でスムーズに流れて行くようになれば良いと思います。
- ・ 北九州市の公共交通は中心地に偏っており、地域の広い小倉南区ではどうしても車に頼らないと区役所に行くことも大変。区役所や大きな病院をカバーするような交通網を整備する必要があります。自転車専用道が少ないので増やせば、自転車通勤などが増えると思います。

〈循環型社会〉

- ・ 福津市の海岸の近くに住んでおり、月に一回の海岸清掃を実施しているが、中国、韓国からのごみが多いが啓発活動の範疇外でありじれったい。海外に対する呼びかけが必要と感じる。また、農業ごみ漁業ごみも大元である事業者に対する意識づけが必要と感じる。
- ・ レジ袋を完全有料化にしてほしい。（コンビニも）
- ・ 今問題になっているペットボトルなどのプラスチックごみ問題を、民間と共同で解決してほしい。きちんとリサイクルされているのでしょうか。
- ・ ごみの分別が各自自治体任せになっているのが気になります。大木町のように県全体でゼロ・ウェイストに取り組むべき時期がきていると思います。
- ・ ごみ出し日、分別が分かりにくい。
- ・ 行政区で毎月一回分別収集が行われています。ひと昔前から考えると分別も日々細分化されて来ているし、なんでもごみ袋に入れて捨てていた時代から考えると凄く進歩したと思います。
- ・ 環境保全是、県と市町村の連携が大事だと思います。身近なごみ選別は市町村が市民に近く、海岸ごみは市民に遠いが県からの情報を市町村が一緒に広報することが、よそ事にならないと思います。
- ・ ごみ袋の金額が少し高く感じます。もう少し安くなればありがたいです。
- ・ 各ごみ処理場は日曜日が休みのため、持っていくときは会社を休まなくてはならない。
- ・ 道路脇に吹きだまつたごみ、雑草が目立つ。
- ・ プラスチックごみに関しては特に、自然や海と共生している福岡県において緊急な課題であると感じています。プラスチックの代替えや、安全な再エネルギー化などの先進的な

解決策が、一日も早く図られることを期待しています。

- ・ ごみについて、気になることがあります。リサイクルできる、プラトレイや古紙回収について、ごみ回収がされないことです。リサイクルできるのでしたら、自助努力でなくごみ回収がされるとうれしいと思います。近くのスーパーに持っていきますが、すぐにたまるので、持っていくのが面倒で燃えるごみに出すことも多いです。

<自然共生社会>

- ・ 水との関わり。近頃は集中豪雨が頻発している。水を物理的に排除するのではなく貯める、逃がす機能を充実してほしい。水を遠ざけるのではなく、親しむ機会も増やしてほしい。
- ・ 最近、公園や街路樹など大きな樹木が切られています。身近なところから伐採せず保全しながら、開発して行って欲しいです。
- ・ 太陽光発電の開発で自然減少することに疑問を感じる。
- ・ 全般的に、自然の恵みを大切に教育・活動が不十分である。

<健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 県内の起因ではないところが大きいので難しい問題ですが福岡ではPM_{2.5}での健康被害が深刻なので住民への注意喚起だけではなく、積極的に原因元への対応も働きかけていただきたいです。
- ・ PM_{2.5}問題は県だけの問題ではない。
- ・ 小倉駅周辺、北口側は海が近いが、海が綺麗ではない。製鉄所や工場も多いのは分かるが、もっと環境整備に整えてほしい。
- ・ 黄砂・PM_{2.5}・光化学スモッグによる空気汚染が深刻である。発生源が国レベルであるため、国全体として、原因対策に取り組んでほしい。また、子供の登校規制等を厳格に実施すべき。
- ・ PM_{2.5} 確実に有るのに具体的に防ぎようが無いし不安です。
- ・ PM_{2.5} など空気の汚染が深刻なので、対策をお願いしたい。
- ・ 避ける事ができないPM_{2.5}問題。
- ・ PM_{2.5}の大気汚染により景観が著しく汚されてしまっていることに忸怩たる思いを感じます。また、ごみの分別については、ダイオキシンが発生しない今日、様々なコストをかけて出し方を分ける必要性を感じません。いろんな面でスリム化されるといいと思います。
- ・ まずは電磁波障害や騒音妨害などもこれから考えて貰いたい。福岡市の方は排気ガスなどで喉をやられてしまうので何とかしてほしい。
- ・ 国レベルの話にもなりますが、福岡県内での空気や海の汚れが気になります。中国への働きかけや河川工事などでの環境整備などの環境改善の働きかけを今後も期待します。
- ・ 黄砂やPM_{2.5}対策は考えられているのかと不安です。未来ある子ども達のためにも早急に対策実施をしてほしいです。

<国際環境>

- ・ PM_{2.5}の情報が随時流れているのは九州だけだと思います。相手国のあることなので対策となると難しいとは思いますが、県としての取組を教えてください。
- ・ やはり空気が悪いです。趣味で写真撮影をしていますが、晴れの日もどうにも空が曇って見えます。中国などに福岡として抗議できないのでしょうか。

<グリーン>

- ・ 福岡が推進する水素活用社会が、普及実現されたら、全国でも先駆的でいいと思います。

- ・ 社会全体で見ると、昔に比べると環境に配慮された製品などが増えたと感じますが、まだまだ浸透不足であると感じることが多いです。
- ・ プラスチックや金属ごみの再利用は出来ていると思うが、生ごみや野菜クズ、雑草ごみなどを利用して土に還して環境に戻す研究をして欲しい。
- ・ 燃料電池の実用化開発は、福岡県が世界で活躍できる機会であるので更に重点を置いていただきたい。

<地域づくり・人づくり>

- ・ 福岡市も広いので、一概にどうとは言えないが、その地域に適した、環境を守る為の運動ができていたらいいと思います。
- ・ 水巻町のように持続可能な町を増やしてほしい。
- ・ 福岡県のみではないですが、経済活動優先で地球環境破壊の動きに対してあまりにも鈍感な状況が維持されていると感じています。海外で健康被害が出ている除草剤が身近に売られていたりという実態もあります。環境負荷に関わるものについては専門的な知識を学べばすぐにでも対処可能なものは多くあると考えています。是非とも福岡県には国内でもリーダーシップを取る気持ちで、環境に向けた意識向上と具体的な施策の実行を期待したいです。
- ・ 個人で意識し取り組むとなると、よほど関心のある人でない限り煩わしく感じ県全体の環境は良くなるのではないかと考えます。まずは行政や法人が手本として取り組み、継続的に県民を巻き込んでいく方法が自然で楽しんで広まっていくのではないのでしょうか。
- ・ 同じ福岡県と言っても都市部と地方では同じ福岡県とは思えないほどの差があり、地方は福岡県の取組は行われているのか疑問に思う。
- ・ 川の水を抜いてごみをとる番組があっていたが、そのように芸能人と一緒にとか、ボランティアではなく、イベント感覚で開催したら楽しく環境も改善されるのではと思う。
- ・ もっと市民が知るように、そしてすごいんだと誇りに思っているほどなのに知らない人が多い。いい宣伝方法はないのか。

〈6〉 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

〈低炭素社会の推進〉

- ・ 「再生可能エネルギーの活用」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「省エネルギーの取組」に対する満足度は、低下傾向にあります。

〈循環型社会の推進〉

- ・ 「ごみの管理・処理」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「資源の有効活用」に対する満足度は、平成 30 年度に大きく上昇したものの、令和元年度は例年レベルに低下しました。
- ・ 「リサイクル」に対する満足度は、低下傾向にあります。

〈自然共生社会の推進〉

- ・ 「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「生物多様性に配慮した社会経済活動」「希少種保護・里山保全等の取組」に対する満足度は、近年横ばいで推移しています。

〈健康で快適に暮らせる生活環境の形成〉

- ・ 「水の汚染」「住まいの周りの静穏」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「空気や空の汚染」に対する満足度は、近年横ばいで推移しています。

〈経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進〉

- ・ 「環境関連技術・産業」に対する満足度は、概ね横ばいで推移しています。

〈持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり〉

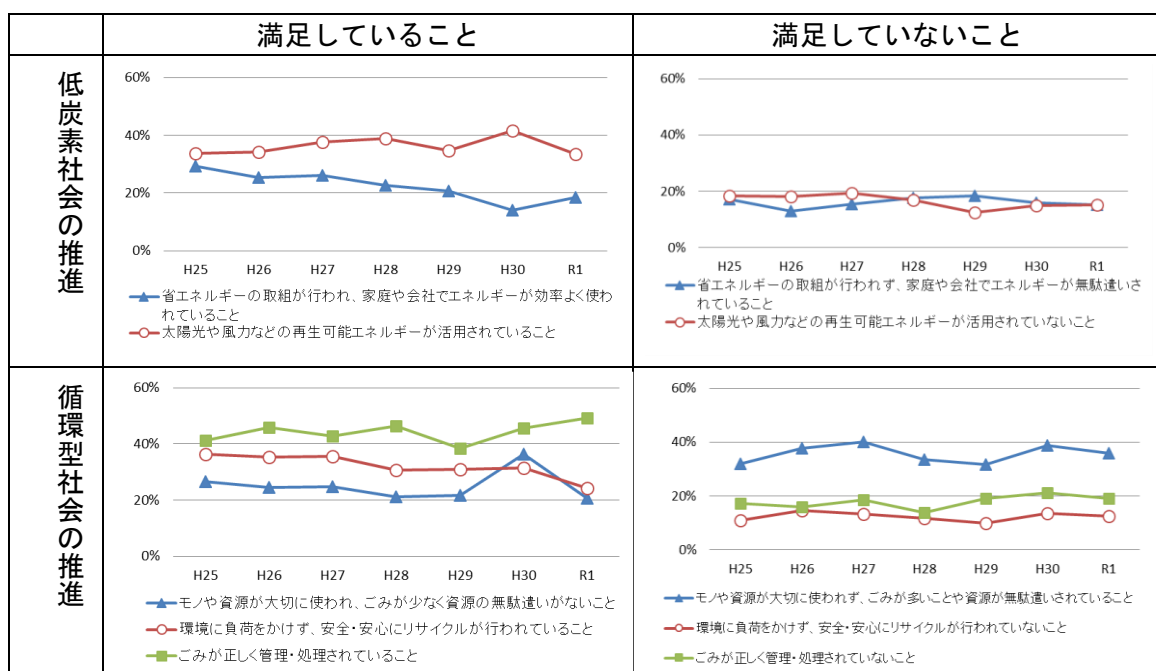
- ・ 「環境配慮行動」に対する満足度は、横ばいで推移しています。
- ・ 「地域づくり」に対する満足度は、平成 30 年度に低下したものの、令和元年度は上昇に転じています。

これらの結果に関して、取組が進んでいるにも関わらず、本調査では満足が得られていない項目があり、正しい情報が県民に届いていない可能性があります。

今後、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

注) 県政モニターのグラフは、平成 25 年度～令和元年度の推移を表しています。

なお、登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



<p>自然共生社会の推進</p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること </p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと </p>
<p>健康で快適に暮らせる生活環境の形成</p>	<p> ▲ 空気や空気が汚染されていないこと ○ 水が汚染されていないこと ■ 住まいの周りの静穏であること </p>	<p> ▲ 空気や空気が汚染されていること ○ 水が汚染されていること ■ 住まいの周りの静かさが保たれていないこと </p>
<p>経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進</p>	<p> ▲ 環境関連の技術や産業が向上・発展していること </p>	<p> ▲ 環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと </p>
<p>持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり</p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること </p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと </p>

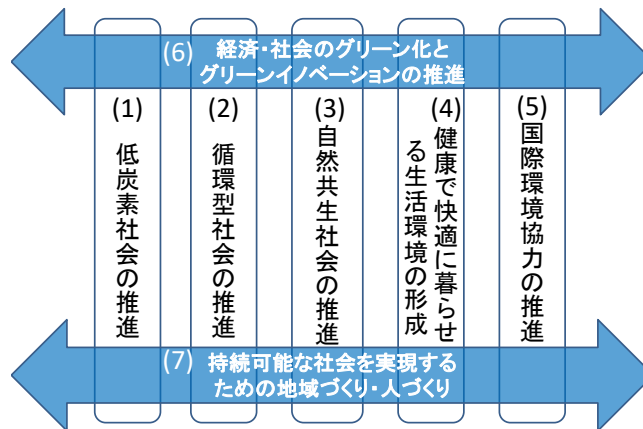
「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」

（計画期間：平成30年度～令和4年度）

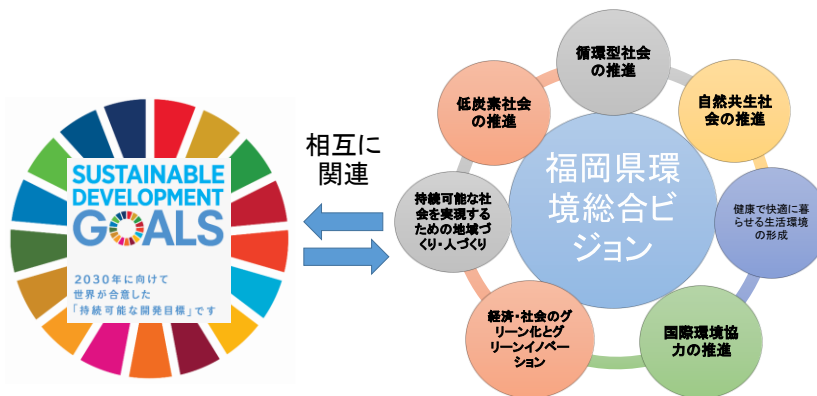
『豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県』
～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～

福岡県は平成30年3月に新たな環境総合ビジョンの策定を行いました。その環境総合ビジョンでは、7つの柱を設定し、柱ごとに目指す姿を示しています。なお、7つの柱は相互に関連しており、全体として持続可能な社会を目指すものです。

7つの柱のイメージ



また、環境総合ビジョンは、環境・経済・社会の3つの側面を調和させつつ、世界を持続的な発展に導くための開発目標であるSDGsの考え方を活用し、分野横断的に課題に取り組むことにより、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指します。



（問い合わせ）環境部 環境政策課
TEL：092-643-3355
E-Mail：kansei@pref.fukuoka.lg.jp